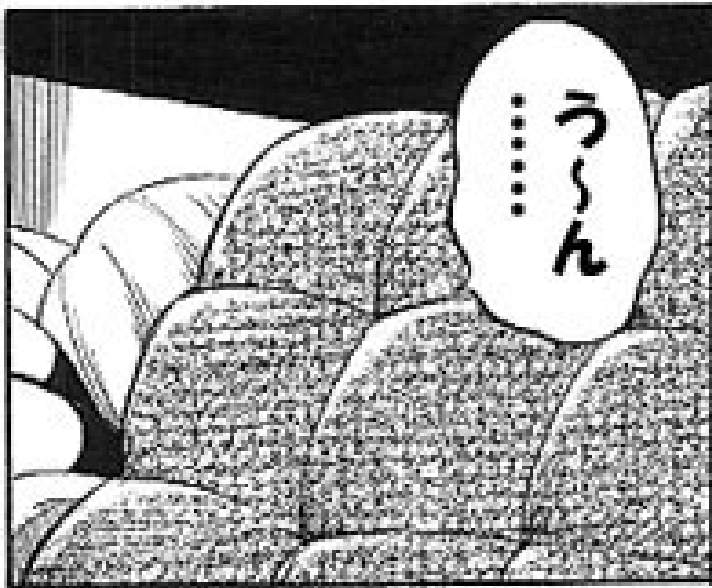
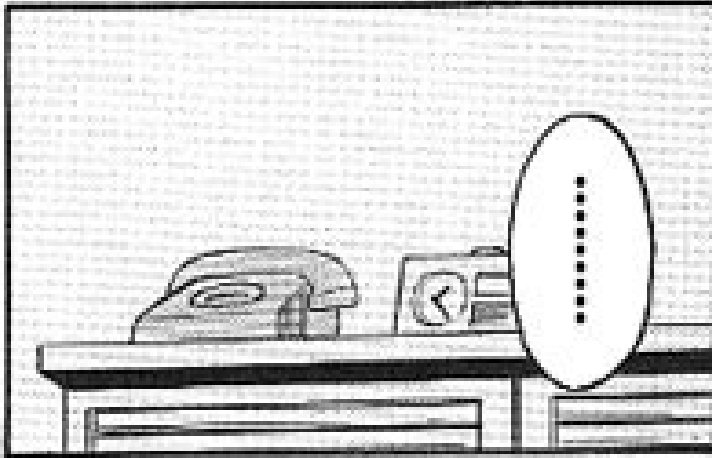
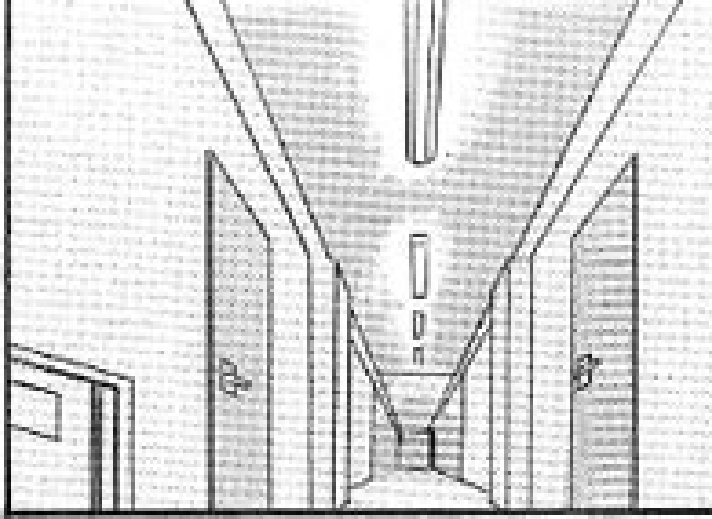


犯された私 vol. 12

待ちふせ

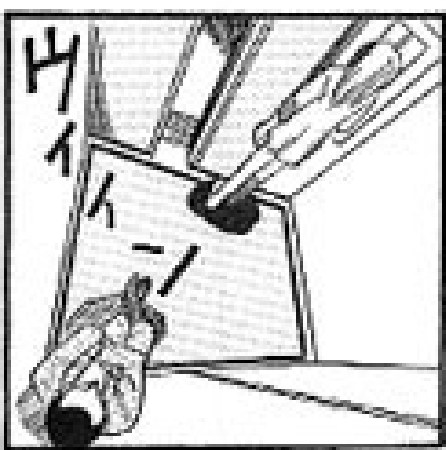
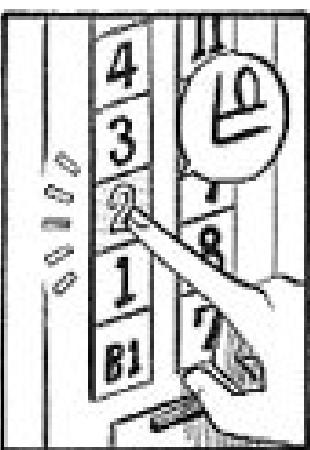
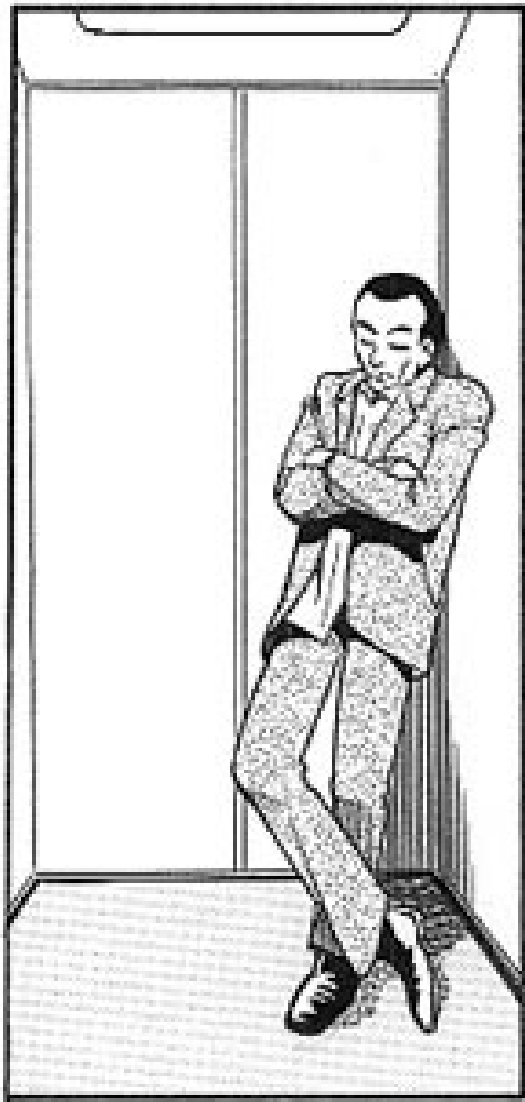
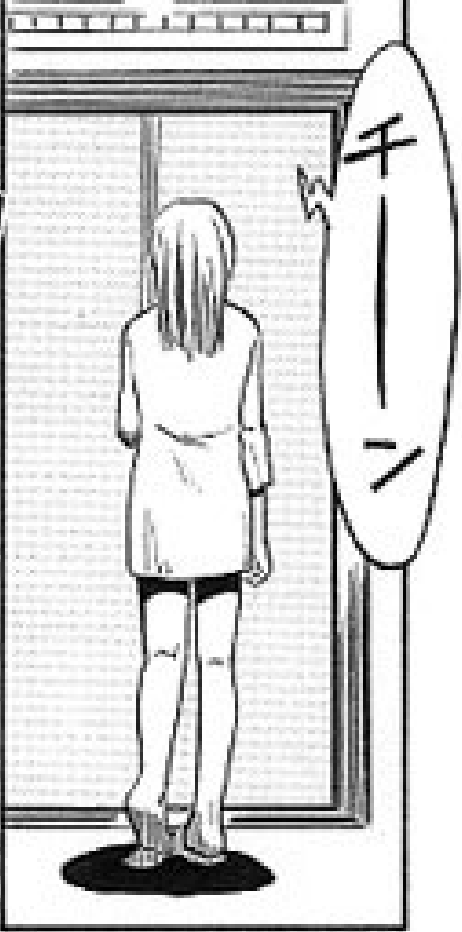


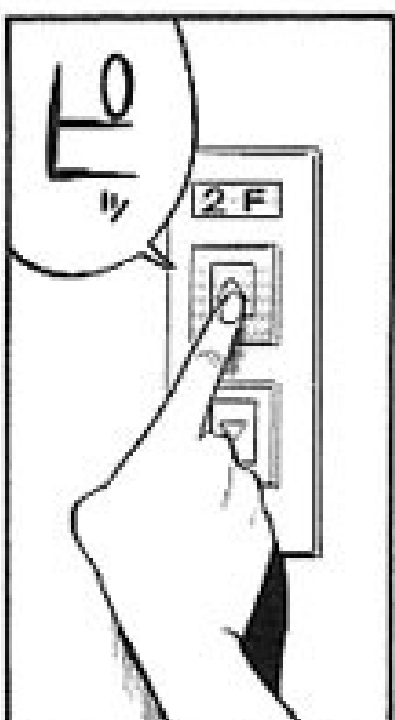
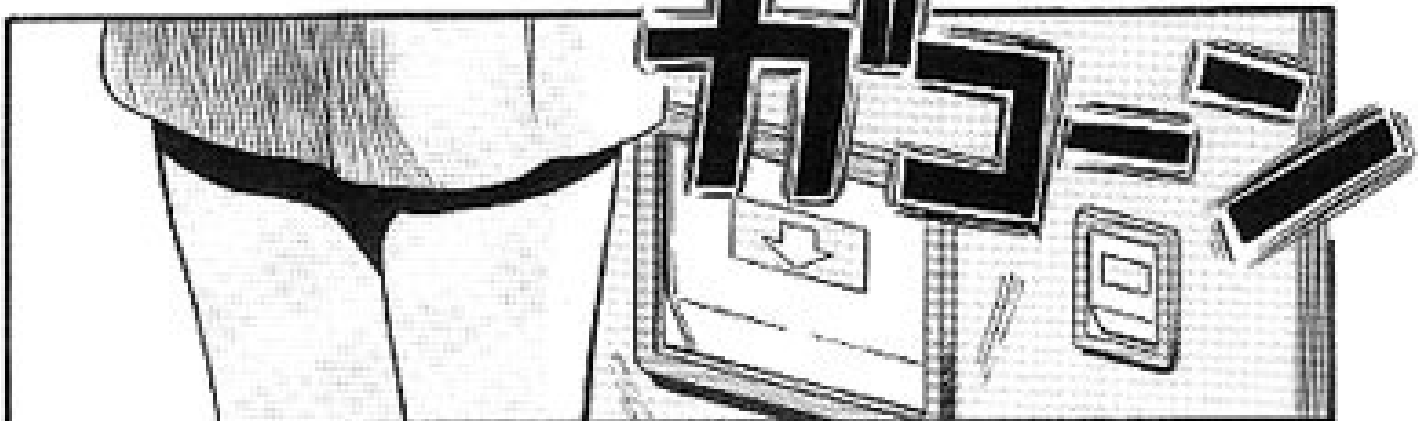
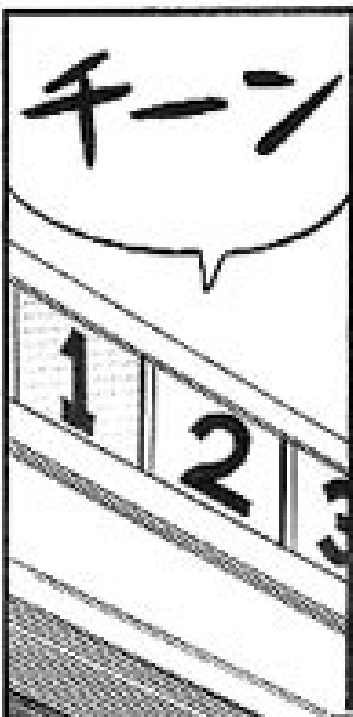
烏賊松



これはつい最近
私がビジネスホテルに
泊まった時の事です









おれさん



やっぱり
ノーブラ
だったな



いやらしい女だぜ
こんなはしたない
カッコウで
男を誘いやがって
よお



グニャ

やっ...

ち...
ちがいます



あたしは
そんな...

勝手に
しゃべんじゃ
ねえよ



この
淫乱女が!

ハ



カッ

ホラ
降りろ

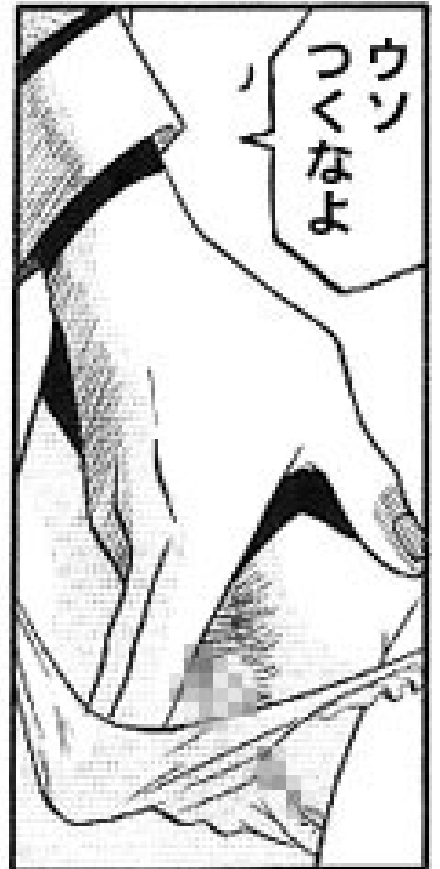
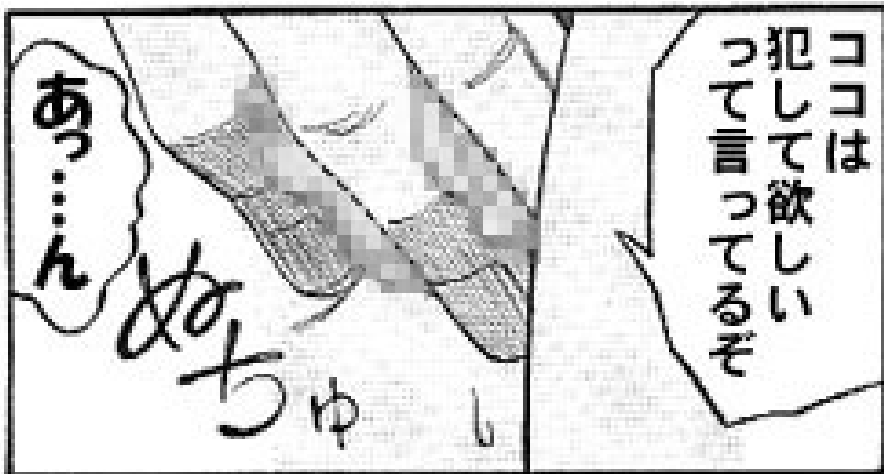


オレの部屋で
たっぶり
可愛がって
やる

いや...

い...





もう一回!!

私を
犯して
ください!!
お願い
します!!

それは
とても
不思議な
感覚でした

そして最後には
本当に「犯されたい」
って心の中で思っ
ていました

何度も
同じ言葉を
言わされている
うちに

カラダが内側から
どんどん熱く
なって行ったんです

アソコも
びしょびしょに
濡れてしまっ
て

男のモノが入ってきた時
あまりの快感に
思わず声が出て
しまいました

死にたいくらい
恥ずかしかったのに

今までに経験した
どんなセックスより
感じてしまいました

「犯されるんだ……」
と思えば思うほど
さぞかに感じてしまい

逃げるチャンスは
いくらかでもあったのに
逃げる気は全く
おきませんでした

結局朝までに
数えきれないほど
イカされてしまいました

あの男の人に犯されて
自分の中で何かが
目覚めてしまった
ようです

あんなメに
あったのに
私はまた
あのホテルに
泊まってしまっ
たかもしれません

そして
今度はきつと
ノーブラ
ノーパンで
部屋を出て
……